nasa 足尾山フライトエリア

ビジターフライトのご案内

ビジター受付ルール

・初めての方は、事前にご連絡ください。
・JHF フライヤー登録または JPA パイロット登録が有効であること
・JHF パイロット証または JPA パイロット証を有すること
・JHF HG-C 級/NP 証、PG-NP 証、または JPA プライマリーパイロットの場合、インストラクター同伴であること
・航空レジャー用デジタル無線機を装備すること
・エリアルールは事前にホームページで確認しておいてください
・ランディングの下見は必ずおこなうこと。ハンググライダーのアプローチ方法を理解していない PG パイロットはハングのランディング場に降りないこと。
・別紙「nasa 足尾山フライトエリア安全対策実施要項」の内容をよくご確認の上、□にチェックを入れ、署名・提出してください。**ご自身のハーネス・ヘルメットを着用した上でレッグベルト締め忘れのシミュレーションを実施してください。**

受付

フライト当日に nasa クラブハウス受付で手続きをしてください。
受付時間：平日 9:15～ 土日祝日 8:45～
「ビジターフライト申込書」「筑波山系フライトエリア　飛行誓約書」を記入し受付に提出してください。
ビジターカード（発行料 500 円）を取得していただくと、次回から便利なスマートフォン受付となります。また、ビジターフライト 1 日あたり 100 円引きになります。

ビジター料金

￥4100/日（学割￥3600/日）※施設利用券は含まれません。

施設利用券

nasa の車で山に上がる際は施設利用券をご利用ください。
1 回券と、お得な 10 回券を販売しています。
ハンググライダーとパラグライダーで料金が異なります。

	1 回券	10 回券
ハンググライダー	¥990（学割¥650）	¥8800（学割¥5500）
パラグライダー	¥880（学割¥600）	¥7700（学割¥5000）

車両への機材の積み込みは、各自の責任でおこなってください。nasa スタッフも細心の注意を払ってお手伝いをしますが、万が一の落下や損傷の際も責任は負いかねます。

施設

nasa クラブハウス

受付、ビジター登録、入下山記帳、山上げバスの発着点になります。

〒3150-157 茨城県石岡市上曽 1389-1　WEB: https://nasa.ne.jp

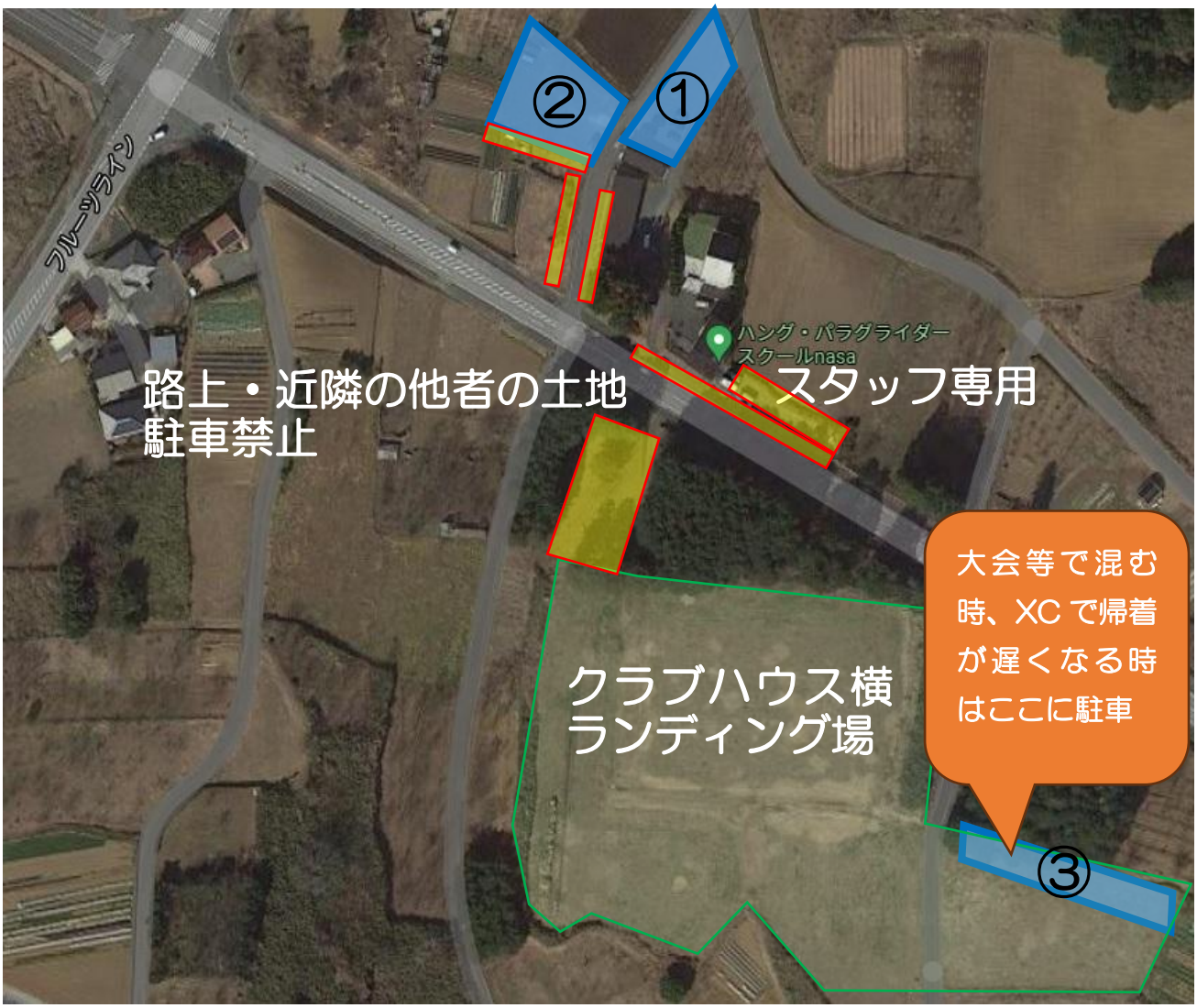
Tel/Fax 0299-51-3215　E-mail info@nasa.ne.jp

Facebook: https://ja-jp.facebook.com/nasa.ne.jp

駐車場

① ② ③ に駐車してください。競技大会や XC 等で帰着が遅くなる方は、なるべく③（クラブハウス横ランディング場の東端）に駐車してください。

駐車禁止 nasa で借りていない土地、近隣の土地や路上には駐車しないでください。



テイクオフ場

ハンググライダー用

・HG 東テイクオフ（北東～南東風）斜面×2、ランチャー×1

・HG 西テイクオフ（北西～南西風）ランチャー×1

パラグライダー用

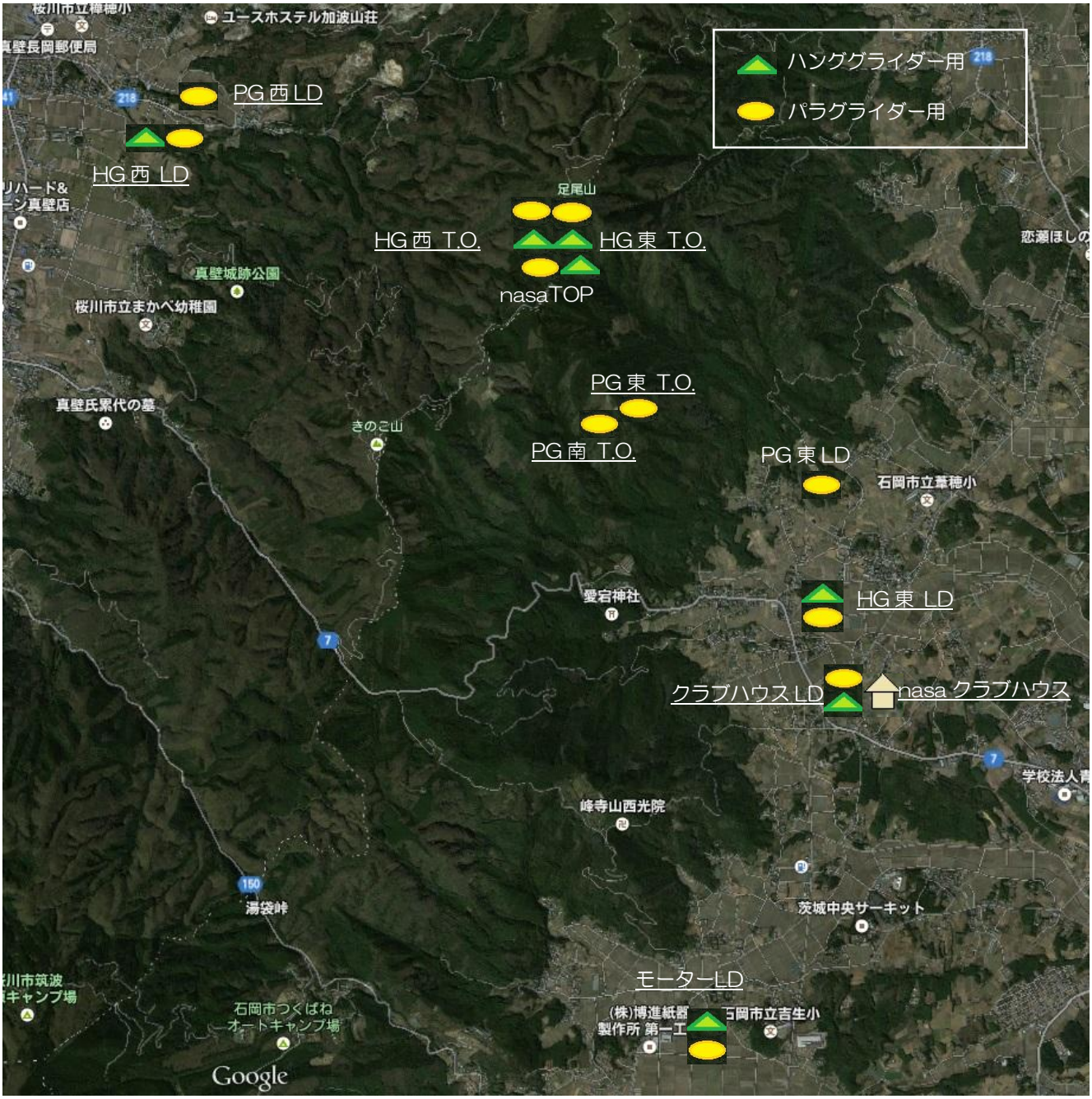
PG メインテイクオフ：駐車場から徒歩 10 分。東と南の 2 面があります。離陸しやすく、サーマル豊富で上げやすい場所にあります。

・東テイクオフ（北東～南東風）

・南テイクオフ（南～南西風）

ハング・パラ兼用

nasaTOP：東～北東風。南、南東、南西風の時は使用しないこと



ランディング場

必ず事前に下見をして、アプローチパターンを確認してください。

ハングのランディング場にパラで降りる場合は；

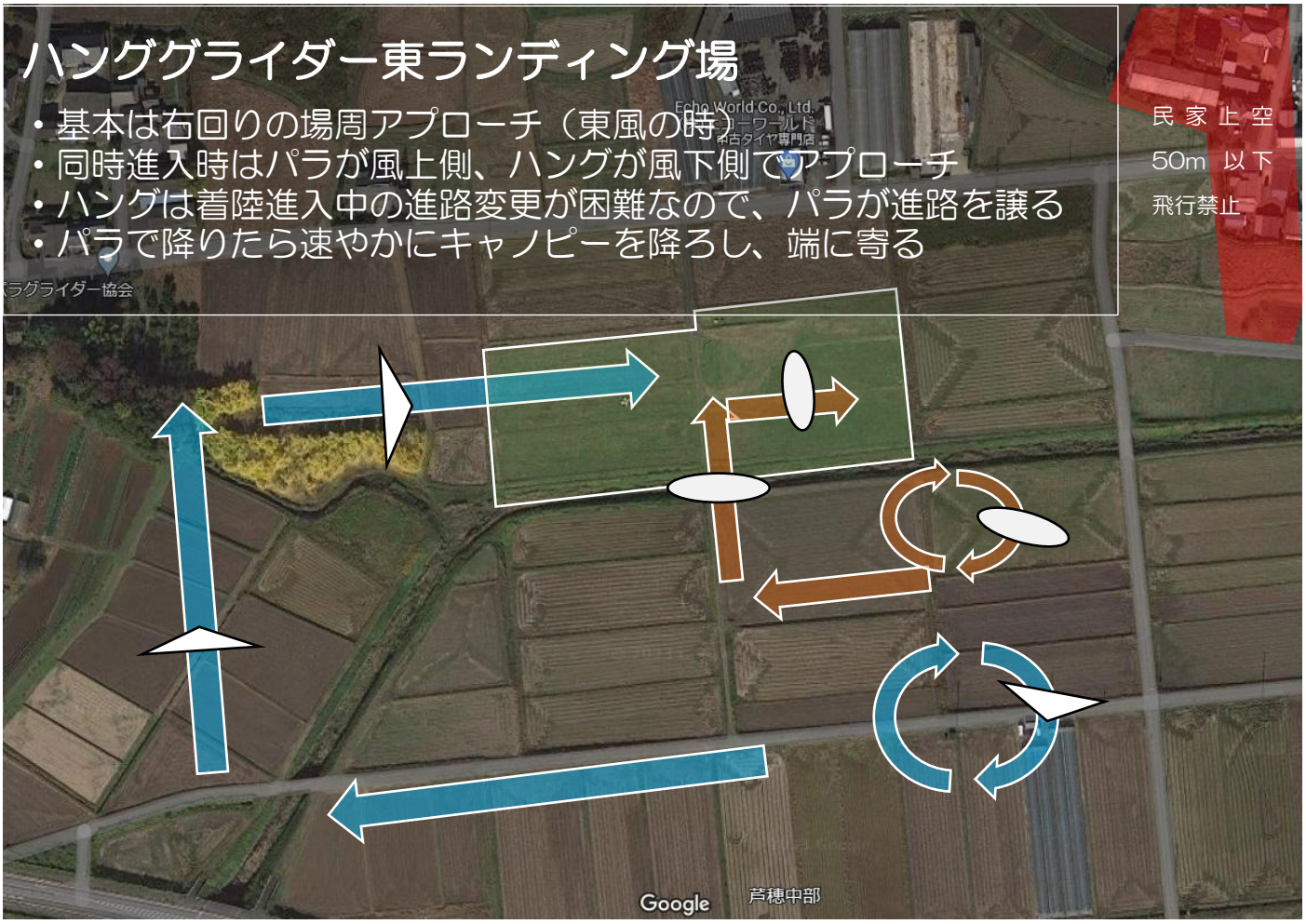
- ハングのアプローチパターンをよく理解し、進路をふさがないこと
  （理解できていない人はハングランディング場に降りないこと）
- ハングは風下側、パラは風上側で高度処理をすること
- 降りたら速やかにキャノピーを降ろし、端に寄ること

- 東側 -

HG東ランディング場

160m x 70m

- 東西方向に長く、障害物は少ないが、北側の電線には要注意
- 南風のアプローチはコツがあるのでインストラクターに確認してください
- 東側の民家上空を高度 50m 以下で飛行しないこと

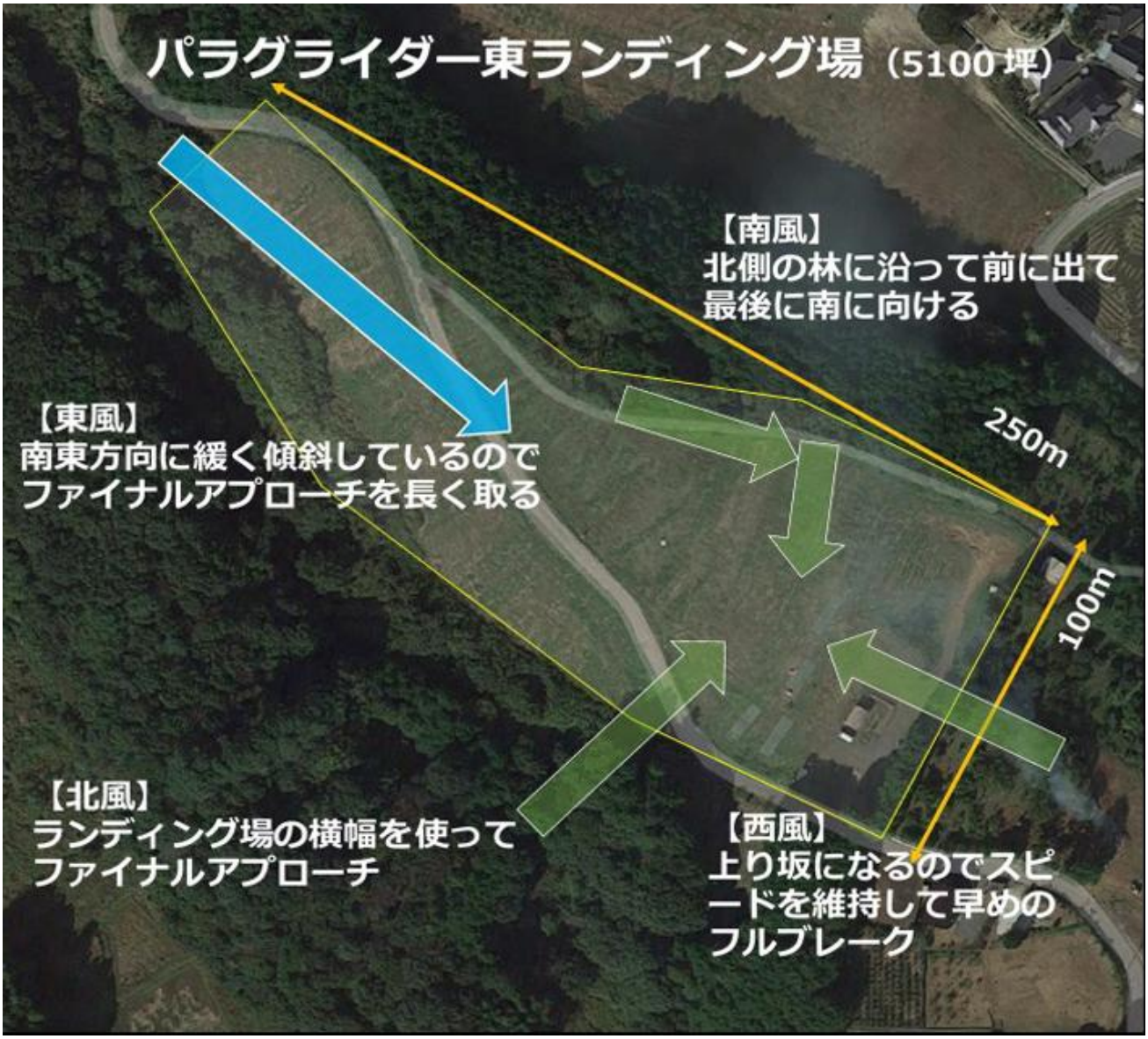


PG 東ランディング場

200m x 80m

・広さは十分ですが、東方向にゆるく傾斜しており、周囲が木に囲まれています。

・風向きに応じたアプローチ方法を事前に確認してください。



nasa クラブハウス横ランディング場

100m x 60m

・東向きの上り斜面。北東～南東風で無風～弱風時に使用可

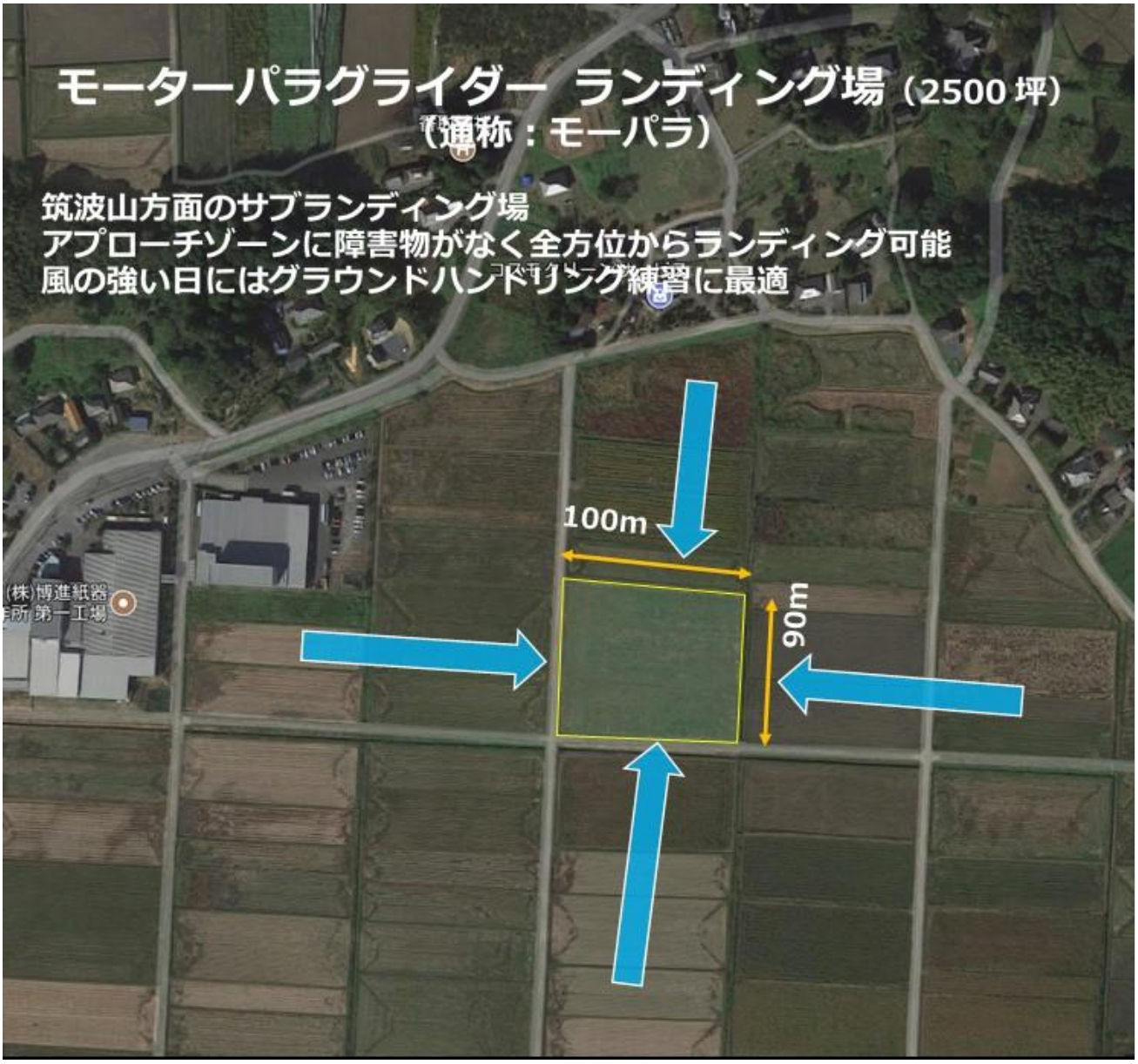
・西向きで降りるには高度な技術が必要

・風速が 4m/s を越えるときはどの風向でも使用しないこと

モーターパラグライダーランディング場

100m x 100m

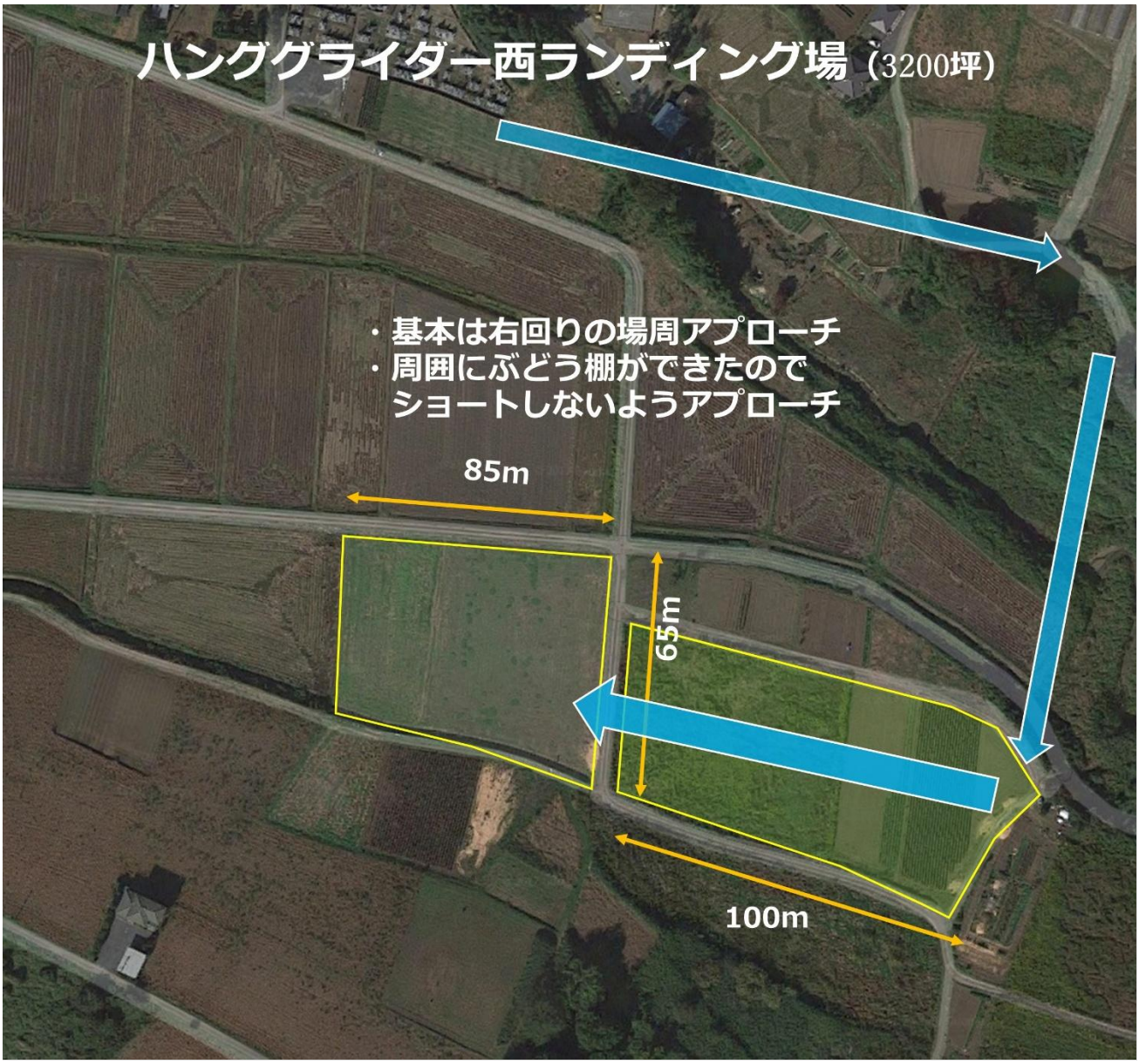
- PG メインテイクオフから南に 3km、紙工場（博進紙器）の前
- 周囲に障害物がなくアプローチは容易
- 筑波山リターン時に低くなった場合の緊急ランディングとして便利。
- グラウンドハンドリング練習をしているのが見えたら、声をかけてから降りること



HG 西ランディング場 185m x 65m　※2024 年から拡大しました

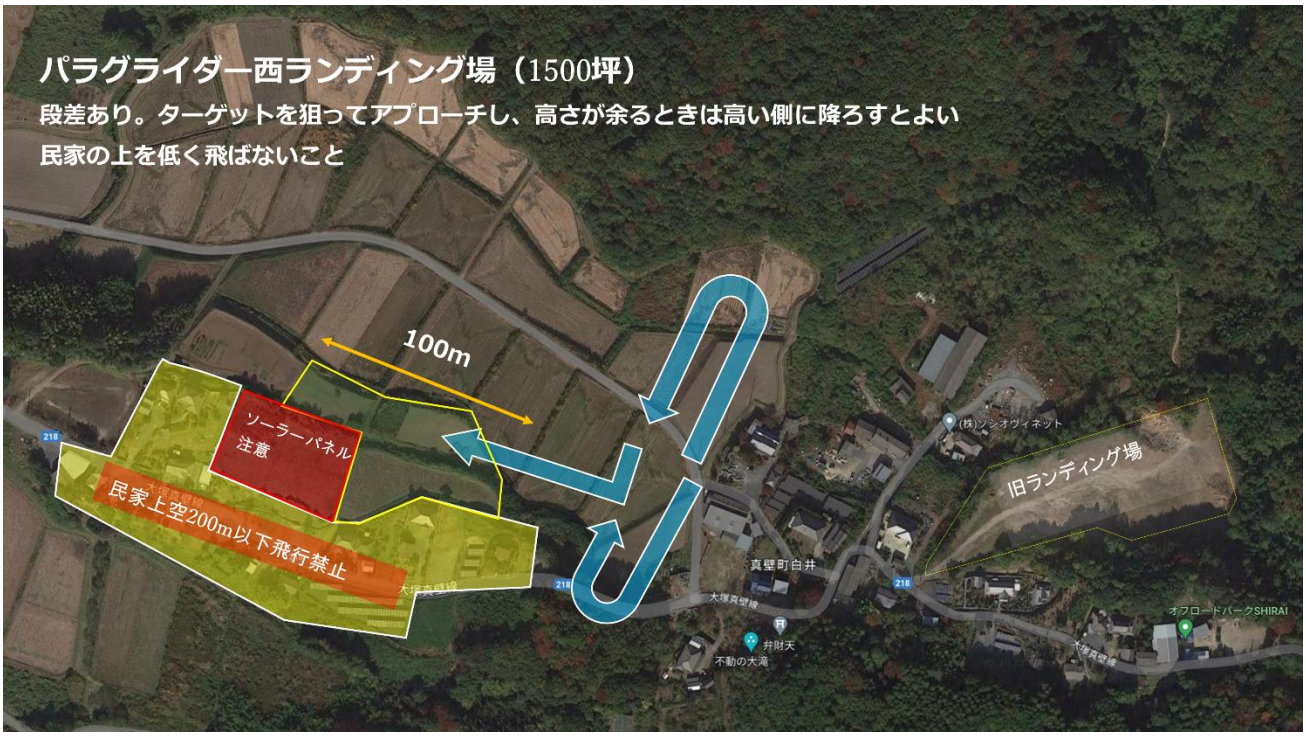
・ソーラーパネルの北西側。ぶどう棚ができたのでショートしないようアプローチ。

・周辺道路にガードレールがあるので低空で旋回しないこと



PG 西ランディング場 100m x 50m　※2023 年 1 月使用開始

- 段差の低い側を狙い、高さが余るようなら高い側に降ろすとよい
- 民家上空は対地高度 200m 以下で飛ばないこと



フライトルール

必須装備

・航空レジャー用デジタル無線機（UC 005）	平日	土日祝日
ハンググライダー	CH　S5	CH　S1
パラグライダー	CH　S5	CH　S5

・**緊急パラシュート**：有資格者によって定期的にリパックされていること。1 年以内の日付が記入されたリパックタグが付いていない場合、フライトをお断りします。
・PG **ハーネス**：T バックルまたは同等の脱落防止機構がついていること

入山チェック/下山チェック

・受付の隣の入下山管理画面にて、QR コードを読み取って入山してください。
・帰着したら同じく QR コードを読み取って下山
・XC 飛行をする方は「クロカン受付表」に記入し XC カードを携帯してください。
・営業時間内に帰着できない場合は、必ず電話 0299-51-3215・メール info@nasa.ne.jp 等でスタッフに連絡すること。XC カードはポストに返却してください。
※日没までに連絡がない場合は、捜索活動を始めます。
・別紙「nasa 足尾山フライトエリア安全対策実施要項」を読み、署名して受付に提出してください。

クロスチェック/ハングチェック

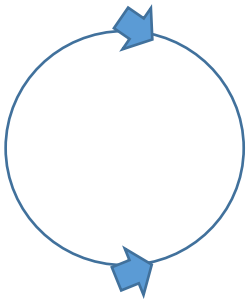
テイクオフする前に必ず他者と一緒に装備の確認をしてください（クロスチェック）。

無線チェック

テイクオフ前に必ず場所・名前・「無線チェックお願いします」から始めて、ベルト類を手でさわりながら確認してください。詳細な手順は上記別紙を参照。

サーマルソアリング

衝突回避のため、nasa 及び近隣エリアのテイクオフ周辺・ランディング場周辺では
・奇数日は左旋回、偶数日は右旋回。
・旋回の中心を合わせてください。



偶数日
右旋回

奇数日
左旋回

リボンをつけている講習生には注意

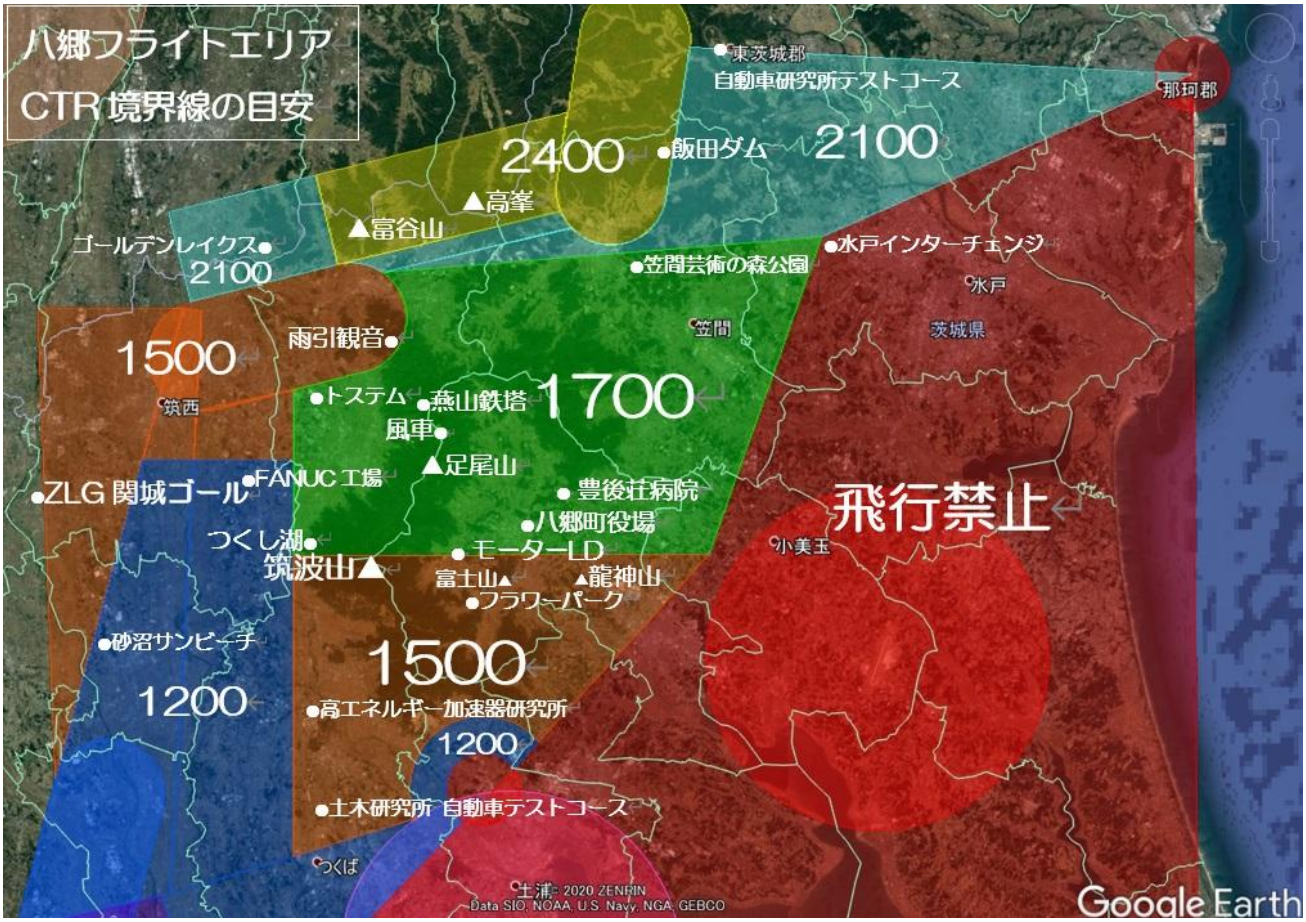
A～NP 講習生は、ハーネスの背中（PG）かキングポスト（HG）にリボンをつけています。不慣れで周囲がよく見えていないこともあるので、**十分な距離を取り、必要に応じて進路を譲ってください。**

無線講習生:	赤
B 級生：	黄
NP・C 級生：	青

飛行禁止空域（CTR）

高度制限

↓下図の高度制限を厳守してください。羽田空港に着陸する飛行機の航路になっています。航空機とのニアミスが発生した場合、足尾山周辺におけるすべてのハング・パラグライダーの飛行ができなくなる恐れがあります。



飛行禁止（足尾山周辺）

・**丸山風車**（テイクオフの北 3km）：半径 250m 以内、高度 850m 以下飛行禁止

風車 1:　36 17 36 N 140 09 01 E

風車.2:　36 17 31 N 140 09 03 E

・**筑波山**（標高 877m、テイクオフの南 6km）：ケーブルカー及びロープウェイの水平・垂直方向 200m 以内飛行禁止

・**八郷温泉ゆりの郷**：露天風呂上空 300m 以下飛行禁止

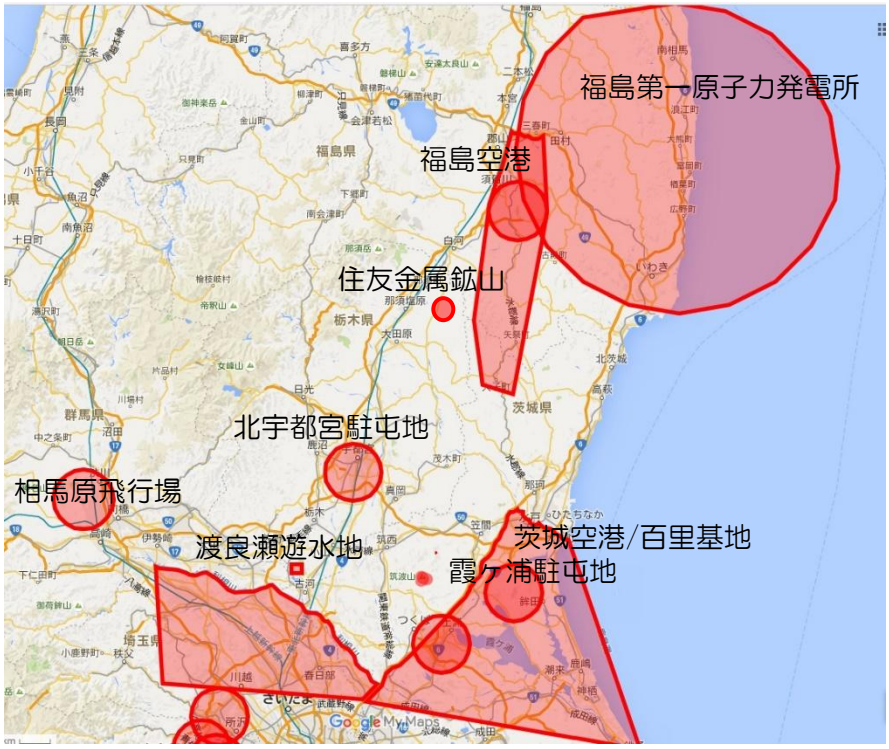
飛行禁止（XC 飛行時）
航空管制圏（半径 9km）
陸上自衛隊 北宇都宮駐屯地
36 30 55 N 139 52 21 E

茨城空港/航空自衛隊百里基地
36 11 00 N 140 25 14 E

陸上自衛隊 霞ヶ浦駐屯地
36 02 20 N 140 11 19 E

陸上自衛隊 相馬原飛行場
36 26 07 N 138 57 11 E

福島空港
37 13 48 N 140 25 45 E



<u>アプローチ</u>
DP 36 43 27 N 140 25 10 E
DP 36 44 55 N 140 18 08 E
DP 36 55 49 N 140 16 22 E
DP 37 15 00 N 140 19 42 E
DP 37 27 08 N 140 24 23 E
DP 37 26 19 N 140 31 20 E
DP 37 13 33 N 140 32 22 E

東京電力福島第一原子力発電所（半径 30km 以内）
37 25 08 N 141 01 20 E

成田空港アプローチ

常磐自動車道以東　及び　東関東自動車道以南

渡良瀬遊水地（スカイダイビング等各種スカイスポーツ）
36 15 07 N 139 40 42 E
神戸製鋼所 真岡発電所（ガスタービン発電所）
36 27 23 N 139 58 25 E
住友金属鉱山 栃木工場（XC ルート上、対地 300m 以下飛行禁止）
36 42 26 N 140 09 52 E

山沈・ツリーランディング

	回収基本料金	２時間以内	以降１時間ごと
高所作業あり	¥10000	¥25000	¥10000
高所作業なし	¥10000	¥15000	¥10000

アウトランディング

	罰金	損害賠償
耕作地/非耕作地	¥1000	与えた損害に応じて各自で賠償

ランディング場から見える範囲内のアウトランディングは nasa に申告してください。
nasa でまとめて地権者にご挨拶に行きます。
ランディング場から見えない場所に降りた場合は、nasa に報告した上でご自分で直接地権者にご挨拶に行ってください。

クロスカントリー回収

nasa では回収を承っておりません。
クロスカントリー飛行をしたい方は、事前に回収者を確保してください。

筑波山系フライトエリア　飛行誓約書

☐ 社会のルールを守り、第三者に迷惑をかけません。

☐ CTR（高度制限）を理解しました。

☐ エリアルール（飛行禁止空域・高度制限を含む）を理解しました。

☐ 「nasa 足尾山フライトエリア安全対策実施要項」に沿ってシミュレーションを実施しました。

☐ 緊急パラシュートを定期的にリパックしています。

☐ 自身の飛行機材の安全性を確認しています。

☐ フライト後にログの提出を求められた場合は協力いたします。

☐ ライブトラック ID＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿（*クロカンする方は必須）

☐ クロスカントリー飛行をする場合は

☐高度制限を理解しています。

☐飛行禁止空域を理解しています。

☐計器に入力し CTR アラームをセットしました。

☐クロカン受付表に記入しました。

☐回収者を手配しました。

☐着陸後すみやかにエリア管理者に安全確認の連絡を入れます。

☐ 署名日　　年　　月　　日

☐ 署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

nasa 足尾山フライトエリア安全対策実施要項

HG 版

内容をよくご確認の上、□にチェックを入れ、署名してください。署名をいただいた方のみフライトを受け付けます。

2022 年 10 月 26 日

ハング・パラグライダースクール nasa

1.ハーネスのベルト着用確認

①ハーネスのカラビナを機体のハングループ（スイングライン）に取り付けて（フックイン）から着用する。ハーネスを先に着用してからのフックインは禁止する。

②ハーネスのベルトは下から上の順で、付ける順番を決めて、毎回その通りにする。

（例：左レッグベルト→右レッグベルト→ファスナー→チェストベルトの順。各自の機材に合わせて順番を決める）

③声を出しながら付ける

（例：「左レッグベルトよし」→「右レッグベルトよし」→「チェストベルトよし」→「カラビナロックよし」→「パラシュートピンよし」）

④ハングチェックを実施する。さらに、振り返ってベルトを見せながら確認する（クロスチェック）

□上記内容を実施します。

2.テイクオフ前の無線チェック

・無線は送信ボタンを押して 1 秒待ってから、ゆっくりと明瞭に話す。

・送信する内容と順番は「場所」「名前」「無線チェックお願いします」とします。

例：

①「ハング東テイクオフ、北野です。無線チェックお願いします」

②「ハングラン板垣です。ベルトチェックお願いします」

③必ずベルトを直接手で触れて確認しながら

「レッグベルト、チェストベルト、あごひも確認しました」

④「ベルトチェック OK です」

※ここまで、必ず同じ内容、同じ順番で上記の応答をおこなう。

※これ以外のことは、必要のない限り言わない。

※風待ち等で、無線チェックしてから時間がたった場合は、①に戻って再確認する。

□上記内容を実施します。

3.万が一フックアウトしてしまったら

・コントロールバーにしがみつかず、すみやかに手を放して機体と離れる。

□上記内容を実施します。

私は上記の内容を確認しました。毎回のフライトで 1～2 を必ず実施します。

年　　月　　日

（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

nasa 足尾山フライトエリア安全対策実施要項

PG 版

内容をよくご確認の上、□にチェックを入れ、署名してください。署名をいただいた方のみフライトを受け付けます。

2022 年 10 月 26 日

ハング・パラグライダースクール nasa

1.ハーネスのベルト着用確認

①ハーネスのベルトは下から上の順で、付ける順番を決めて、毎回その通りにする。

（例：左レッグベルト→右レッグベルト→チェストベルトの順。ポッドハーネスの場合は各自の機材に合わせて順番を決める）

②声を出しながら付ける

（例：「左レッグベルトよし」→「右レッグベルトよし」→「チェストベルトよし」→「カラビナロックよし」→「パラシュートピンよし」）

③必ず、その場にいる他者にベルトを見せながら確認する（クロスチェック）

□上記内容を実施します。

2.テイクオフ前の無線チェック

・無線は送信ボタンを押して 1 秒待ってから、ゆっくりと明瞭に話す。

・送信する内容と順番は「場所」「名前」「無線チェックお願いします」とします。

例：

①「パラ南テイクオフ、北野です。無線チェックお願いします」

②「パララン板垣です。ベルトチェックお願いします」

③必ずベルトを直接手で触れて確認しながら

「レッグベルト、チェストベルト、あごひも確認しました」

④「ベルトチェック OK です」

※ここまで、必ず同じ内容、同じ順番で上記の応答をおこなう。

※これ以外のことは、必要のない限り言わない。

※風待ちが長くなった場合やテイクオフ失敗によりやり直す場合は、①に戻って再確認する。

□上記内容を実施します。

3.万が一のベルト締め忘れが発生した場合に備えて

・携帯電話はハーネスではなく、服のポケット等、身に付けておく

・気付いた時点で大声を出し、ベルトをかけ忘れたことを周囲に知らせる

・すみやかに片側のブレークコードを引いて、不時着を試みる

□上記内容を実施します。

4.□レッグベルト締め忘れのシミュレーションを実施しました。

私は上記の内容を確認しました。毎回のフライトで 1～3 を必ず実施します。

年　　月　　日

（署名）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿